

<感想> 最初の出発から大変な調査の旅だった。日本人と違って韓国人はまだ中国のビザが必要である。そのことを知らなくて研究を一週間遅くした。学期の中に現地調査をするので一週間以上は無理だった。北京清華大学の韓国人留学生の協力を得て調査を開始した。

まず、研究対象と考えた **Qianmen** 通りの地域中に東にある地区は、調査の時に大規模な再開発が開始された状況だった。それで、**Wangfujing** と **Nanluoguxiang** という地域に変えて調査をした。施設の便利のために開発が必要だけど、伝統的な家屋を保存していない全面的な開発をすることに残念だった。

Wangfujing は、大きな建物や道路が前面に囲まれており、その規模に驚いた。また、いろんな所で大規模な工事が進行中だったので、調査を予定していたよりも少ししかできなかった。モダンな建物と広い道路とは対照的に、背面には狭い道路と **Hutong** と呼ばれる伝統的な家屋の跡が少し残っていた。

Nanluoguxiang は伝統的な家屋が密集した地域で、最近人気が高いという。地域の中を横断している **Nanluogu** という街には多くの店が集めだった。しかし終端に接続されている多くの **Hutong** という家屋は地元の住民が住んでおり、この地域はまだその原型をほとんど保持されていた。道の長さが長すぎて、接続の部分が補完されなければならない状態だと思った。

現代的な外見は、ほとんど同じだと考えた。しかし、前に日本や韓国がそうだったように、中国も急速な発展の時代で自分の伝統的なものをしっかり守るのが重要な **point** だ。似ているが違う中国、韓国、日本の都市の発展を想像する。